

# 令和2年度第2回 新潟医療生活協同組合

## 喀痰吸引等研修（第一号・第二号研修）募集要項

### 1. 研修目的

当法人が理念として掲げる協同互助の精神に基づき、地域住民の福祉の向上を図るため、介護保険施設等や居宅に於いて、安全に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等を養成します。

### 2. 研修実施機関

新潟医療生活協同組合

### 3. 研修期間

基本研修（講義+演習）令和2年8月1日（土）から8月30日（日）（11日間）

実地研修 原則として基本研修終了後12ヵ月以内受講生所属施設（委託）又は、新潟医療生活協同組合（受講生受入れ）で研修を行います。

### 研修日程

|                                   | 開催日                     |       |   |            | 開催場所  |
|-----------------------------------|-------------------------|-------|---|------------|---|
|                                   | 日                       | 月     | 日 | 時間         |   |
| 基本研修<br>（講義）<br>（8日間）<br>（最終日テスト） | 1日目                     | 8月1日  | 土 | 9:00~17:00 | 新潟医療生活協同組合<br>なじよも4号館3階<br>コープ ケア カレッジ<br>講習研修室・実技研修室   |
|                                   | 2日目                     | 8月8日  | 土 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 3日目                     | 8月9日  | 日 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 4日目                     | 8月18日 | 火 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 5日目                     | 8月20日 | 木 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 6日目                     | 8月22日 | 土 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 7日目                     | 8月24日 | 月 | 9:00~17:00 |   |
|                                   | 8日目                     | 8月26日 | 水 | 9:00~17:00 |   |
| 演習（2日間）<br>（最終日テスト）               | 9日目                     | 8月28日 | 金 | 8:30~17:00 | 新潟医療生活協同組合  |
|                                   | 10日目                    | 8月29日 | 土 | 8:30~18:00 | 〃   |
| 演習（3日目）                           | 11日目                    | 8月30日 | 日 | 9:00~17:00 | 実地研修（SSなじよも）のみの研修生  |
| 実地研修                              | 原則として基本研修終了後12ヶ月以内実施します |       |   |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人保健施設 ほほえみの里きど</li> <li>・介護老人保健施設 有楽園</li> <li>・介護老人保健施設 大山園</li> <li>・ショートステイなじよも</li> <li>・特別養護老人ホーム あしぬま荘・風の笛</li> <li>・特別養護老人ホーム 黒崎の里</li> <li>・特別養護老人ホーム 穂波の里・道場山</li> <li>・特別養護老人ホーム 桃山園</li> <li>・特別養護老人ホーム いなほの里</li> <li>・特別養護老人ホーム あがうら</li> <li>・有料老人ホーム サンライフ舞</li> <li>・看護多機能 なじみの家 きなせや大迎</li> </ul> |

※カリキュラム・時間割は都合により変更する場合があります。

※実地研修の手技に於いて、規定回数最後の3回は見極めとなります。手順及び方法が間違っ  
てやり直しの場合は3回できるまで繰り返しとなります。

#### 4. 受講資格

- ・原則として、新潟県に住所があり、県内に所在する高齢者施設・障害者施設等に勤務している方
- ・所属している施設（事業所）の長の推薦が得られ、全研修日程に確実に出席可能な方
- ・新潟医療生活協同組合が案内する賠償責任保険に加入できる方

#### 5. 募集定員

25名

#### 6. 募集期間

令和2年6月1日（月）～7月21日（火）

※郵送の場合は、7月21日（火）必着。持参の場合7月21日（火）15：00迄

#### 7. 研修内容及び受講料

注：ご利用者様の都合で2号資格（口腔内吸引・鼻腔内吸引・胃ろう又は腸ろう）のみの受け入れとな  
りますの

でご了解ください。

【別表】1-1をご参照ください。

#### 8. 研修について

##### （1）講義及び筆記試験

50時間の講義終了後に筆記試験（四肢択一、40問、60分）を実施し知識の定着を確認します。  
正解率が9割以上の者を合格と認定します。

##### （2）演習

- ・シミュレーター（人形）を用いた演習を実施し、技能の習得を確認します。

【演習の回数】 ※第一号研修・第二号研修共通

| 区 分   | 行 為          | 回 数  |
|-------|--------------|------|
| たんの吸引 | 口腔内吸引        | 5回以上 |
|       | 鼻腔内吸引        | 5回以上 |
|       | 気管カニューレ内部の吸引 | 5回以上 |
| 経管栄養  | 胃ろう又は腸ろう     | 5回以上 |
|       | 経鼻経管栄養       | 5回以上 |
| 救急蘇生法 |              | 5回以上 |

- ・実地研修のみをご希望の方は、事務局にお問い合わせください。

2日間の演習（演習の回数は各項目4回まで、実技試験はなし）で、13,000円の研修費が必要に  
なります。

(3) 実地研修

- ア 実地場所 当法人関連施設又は、一定の要件を満たした実地研修機関（受講生所属施設等）
- イ 内 容 指導者の指導の下、利用者の協力を得て所定の実地研修を行います。

【実地研修の実地回数】

| 区 分   | 行 為          | 回 数   |         |
|-------|--------------|-------|---------|
|       |              | 第一号研修 | * 第二号研修 |
| たんの吸引 | 口腔内吸引        | 10回以上 | 10回以上   |
|       | 鼻腔内吸引        | 20回以上 | 20回以上   |
|       | 気管カニューレ内部の吸引 | 20回以上 | 20回以上   |
| 経管栄養  | 胃ろう又は腸ろう     | 20回以上 | 20回以上   |
|       | 経鼻経管栄養       | 20回以上 | 20回以上   |

\* 第2号研修は上記の行為いずれかについて実地研修を修了すること。

ウ 実地研修機関について

受講生の所属施設等で実地研修を行う場合は、所属施設等が次の基準を満たす必要があります。

【実地研修機関選定基準】

- ・国又は県の指導者講習を修了し、実地研修を指導することのできる医師又は看護職員（看護師、保健師及び助産師）との連携及び役割分担による的確な医学管理及び安全管理体制が確保できること。
- ・書面による医師の指示を受け、実地研修を実施することができること。
- ・利用者本人から同意を得るのが困難な場合にはその家族等（以下「実地研修協力者」という。）に対して研修の趣旨を説明した上で、実地研修への協力について書面による同意承認を受けることができること。
- ・事故発生時の対応（関係者への報告、実地研修協力者家族への連絡など適切かつ必要な緊急措置及び事故対応等に係る記録及び保存等を含む。）について、体制を整備することができること。
- ・実地研修協力者の秘密保持（関係者への周知徹底を含む。）等に関する規定を整備することができること。
- ・出席状況等、研修受講者に関する状況を確実に把握し、保存できること。

9. 研修に於ける保険の加入

研修の受講に当たって、新潟医療生活協同組合が案内する賠償責任保険に加入していただきます。

10. 受講料の返還

一旦納付された受講料は、原則として返還いたしません。

11. 研修の一部履修免除について

過去に一定の研修を修了された方については、研修の一部が履修免除になります。  
免除科目については、【別表】 1-2 をご参照ください。また免除の対象となる研修を修了している方は、受講申込書に、当該研修を修了したことが確認できる書類のコピーを添付して下さい。

## 12. 申込方法

郵送又は持参により、次の書類を下記の申込先に提出して下さい。

受講申込は、施設・事業所毎に行い、申込者が複数名の場合は、優先順位を付けて申し込んで下さい。

【提出書類】 様式 1 新潟医療生活協同組合 喀痰吸引等研修 推薦状

様式 2 新潟医療生活協同組合 喀痰吸引等研修 受講申込書

※返信用封筒を同封してください。(長形 40 号サイズ=A4 サイズ 3 つ折り)

封筒には宛名、郵便番号、事業所所在地、事業所名、担当者名を必ず記載の上、  
84 円切手を貼って下さい。

## 13. 受講決定方法

定員を超える申込みがあった場合は、施設・事業所から優先順位を勘案し、受講生を決定します。  
ただし、第 1 号研修を優先させ受講決定させていただきます。

## 14. 受講決定（不決定）の通知方法

申込者に対し、受講決定（不決定）通知を郵送します。通知については、原則的に受講開始日の 7 日前に到着するよう発送いたします。通知が届かない方については、お手数ですがお問合せ願います。

## 15. 留意事項

- ・ 所属長は、研修の全課程を確実に受講できる方を推薦して下さい。無断で欠席をした場合や、受講期間中に所属事業所を退職した場合は、研修を修了することができない場合があります。
- ・ 基本研修（講義）の欠席した場合、当研修所が指定する補講（別途料金を添えて）受講する必要があります。遅刻・早退は理由の如何に係らず欠席扱いとなります。これも同様に補講が必要になります。
- ・ 基本研修（講義）終了後の筆記試験において、合格基準（正解率 9 割以上）に満たなかった場合は、不合格となり、研修を修了することができません。但し、正解率 7 割以上の者については、当研修所が行う、再試験を受験することができます。
- ・ 研修受講中に著しく公序良俗に反する言動や行動。または、講義を妨害・中止に追い込むような行為並びに、講師他に対しての暴力行為があった場合は、その場にて退出命令を出し、後程に除籍・退学処分にする場合があります。
- ・ 退学処分並びに、やむを得ない事由による研修を修了することができなかった場合でも受講料の返還はできません。

お申込・お問合せ先

新潟医療生活協同組合 コープ ケア カレッジ 事務局

担当 手塚 / 井上

〒950-0891 新潟県新潟市東区上木戸 5 丁目 2 番 1 号

コープケアカレッジ事務所内

## 【別表】 1 - 1

|                       | 科目                       | 時間又は<br>規定回数 |     | 受講者受託    | 受講者受入     |           |
|-----------------------|--------------------------|--------------|-----|----------|-----------|-----------|
|                       |                          |              |     | 第一号・第二号  | 第一号       | 第二号       |
| 基本研修<br>講義            | 1. 人間と社会                 | 1.5          | 時間  | 64,990 円 | 64,990 円  | 64,990 円  |
|                       | 2. 保健医療制度とチーム医療          | 2.0          | 時間  |          |           |           |
|                       | 3. 安全な療養生活               | 4.0          | 時間  |          |           |           |
|                       | 4. 清潔保持と感染予防             | 2.5          | 時間  |          |           |           |
|                       | 5. 健康状態の把握               | 3.0          | 時間  |          |           |           |
|                       | 6. 高齢者及び障害児・者への喀痰吸引概論    | 11.0         | 時間  |          |           |           |
|                       | 7. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 | 8.0          | 時間  |          |           |           |
|                       | 8. 高齢者及び障害児・者への経管栄養概論    | 10.0         | 時間  |          |           |           |
|                       | 9. 高齢者及び障害児・者への経管栄養解説    | 8.0          | 時間  |          |           |           |
| 基本研修<br>演習            | 口腔内の喀痰吸引                 | 5            | 回以上 | —        | 72,000 円  | —         |
|                       | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 5            | 回以上 |          |           |           |
|                       | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 5            | 回以上 |          |           |           |
|                       | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 5            | 回以上 |          |           |           |
|                       | 経鼻経管栄養                   | 5            | 回以上 |          |           |           |
|                       | 救急蘇生法                    | 1            | 回以上 |          |           |           |
| 実地研修<br>受け入れ<br>第一号研修 | 口腔内の喀痰吸引                 | 10           | 回以上 | —        | 72,000 円  | —         |
|                       | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 20           | 回以上 |          |           |           |
|                       | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 20           | 回以上 |          |           |           |
|                       | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 20           | 回以上 |          |           |           |
|                       | 経鼻経管栄養                   | 20           | 回以上 |          |           |           |
| 実地研修<br>受け入れ<br>第二号研修 | 口腔内の喀痰吸引                 | 10           | 回以上 | —        | —         | 6,000 円   |
|                       | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 20           | 回以上 |          |           | 12,000 円  |
|                       | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 20           | 回以上 |          |           | —         |
|                       | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 20           | 回以上 |          |           | 12,000 円  |
|                       | 経鼻経管栄養                   | 20           | 回以上 |          |           | —         |
| 事務処理費                 | 各種事務処理                   |              |     | 5,200 円  | 5,200 円   | 5,200 円   |
| テキスト代                 |                          |              |     | 2,210 円  | 2,210 円   | 2,210 円   |
| 賠償責任保険料               |                          |              |     | 2,000 円  | 2,000 円   | 2,000 円   |
| 新潟県証紙代                |                          |              |     | 1,600 円  | 1,600 円   | 1,600 円   |
| 合 計                   |                          |              |     | 76,000 円 | 148,000 円 | 106,000 円 |

※ 現在、原則 2 号研修のみの募集となっております。気管カニューレ、経鼻経管栄養を除く行為で、1・2つの行為で良い場合は事務局にお問い合わせください。

※ 新潟医療生活協同組合 組合員の方は、上記料金から 10,000 円引きになります。

詳しくは、コープケアカレッジ 事務局 担当までお問合せ下さい。

※ 上記料金につきましては、都合により改定する場合があります。

※ 研修を中断された方への返金はありません。

※ 事務処理費については、パッケージ料金の為、5,200円となります。

【別表】 1-2

免除科目一覧

|                | 科目・行為                    | 時間又は<br>規定回数 |     | 修了している研修（免除と必須科目）   |                     |        |      |
|----------------|--------------------------|--------------|-----|---------------------|---------------------|--------|------|
|                |                          |              |     | 介護福祉士<br>実務者研修<br>① | 介護福祉士<br>実務者研修<br>② | 14時間研修 | 未経験者 |
| 基本研修<br>講義     | 1. 人間と社会                 | 1.5          | 時間  | ○免除                 | ○免除                 | ●必須    | ●必須  |
|                | 2. 保健医療制度とチーム医療          | 2.0          | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 3. 安全な療養生活               | 4.0          | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 4. 清潔保持と感染予防             | 2.5          | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 5. 健康状態の把握               | 3.0          | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 6. 高齢者及び障害児・者への喀痰吸引概論    | 11.0         | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 7. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 | 8.0          | 時間  | ●必須                 |                     |        |      |
|                | 8. 高齢者及び障害児・者への経管栄養概論    | 10.0         | 時間  | ○免除                 |                     |        |      |
|                | 9. 高齢者及び障害児・者への経管栄養解説    | 8.0          | 時間  | ●必須                 |                     |        |      |
| 基本研修<br>演習     | 口腔内の喀痰吸引                 | 5            | 回以上 | ○免除                 | ○免除                 | ○免除    | ●必須  |
|                | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 5            | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 5            | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 5            | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 経鼻経管栄養                   | 5            | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 救急蘇生法                    | 1            | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
| 実地研修<br>第一号研修  | 口腔内の喀痰吸引                 | 10           | 回以上 | ●必須                 | ●必須                 | ○免除    | ●必須  |
|                | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 経鼻経管栄養                   | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
| ※実地研修<br>第二号研修 | 口腔内の喀痰吸引                 | 10           | 回以上 | ●必須                 | ●必須                 | ○免除    | ●必須  |
|                | 鼻腔内の喀痰吸引                 | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 気管カニューレ内部の喀痰吸引           | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養          | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |
|                | 経鼻経管栄養                   | 20           | 回以上 |                     |                     | ●必須    |      |

※行為いづれかについて実地研修を修了すること。

## 基本研修費

|       | 介護職員実務者研修<br>修了者① | 介護職員実務者研修<br>修了者② | 14時間研修<br>修了者 |
|-------|-------------------|-------------------|---------------|
| 基本研修費 | 20,000円           | 0円                | 64,990円       |
| テキスト代 | 2,210円            | 0円                | 2,210円        |
| 当該保険料 | 2,000円            | 2,000円            | 2,000円        |
| 証紙料   | 1,600円            | 1,600円            | 1,600円        |
| 事務処理費 | 5,400円            | 5,400円            | 5,400円        |
| 合計    | 31,210円           | 9,000円            | 76,200円       |

## 実地研修費（実地研修のみの方の場合）

| 各実地研修別コース | 実地研修費用        |
|-----------|---------------|
| 一号実地研修    | 81,000円       |
| 二号実地研修    | 6,000～76,000円 |
| 新潟県証紙代    | 1,600円        |

## 基本演習費（2日間の喀痰吸引演習、経管栄養演習を希望される方）

| 各実地研修別コース    | 演習費用    |
|--------------|---------|
| 一号、二号実地研修コース | 13,000円 |

実務者研修① 実務者研修の医療的ケア（50時間）の科目7「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」、科目9「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説」とともに含む科目をスクーリングで未受講の方

実務者研修② 実務者研修の医療的ケア（50時間）の科目7「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」、科目9「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説」とともに含む科目をスクーリングで受講した方。

14時間研修 特別養護老人ホームにおける14時間研修を修了し、経過措置として一定の条件の下に喀痰吸引等を行っていた方。

※当法人で実地研修を行う場合は、別途実地研修費が加算されます。

※介護福祉士実務者研修の医療的ケア及び介護職員による喀痰吸引等研修（50時間）の科目7「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」、科目9「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施解説」を受講終了している方で、当法人にて実施研修のみを行う場合は、科目7「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」、科目9「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施解説」の履修証明の提出が必要になります。

※事務処理費につきましては単価料金の為、5,400円となります。

【別紙】 1 - 3

カリキュラム（第一号研修・第二号研修）

（単位：時間）

1 基本研修（講義）

| 大項目                           | 中項目                            | 必要時間<br>（注1） | 実施時間<br>（注2） |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------|--------------|
| 1 人間と社会                       |                                | 1.5          | 1.5          |
|                               | (1) 個人の尊厳と自立                   | 0.5          | 0.5          |
|                               | (2) 医療の倫理                      | 0.5          | 0.5          |
|                               | (3) 利用者や家族の気持ち、説明と同意           | 0.5          | 0.5          |
| 2 保健医療制度とチーム医療                |                                | 2            | 2            |
|                               | (1) 保健医療に関する制度                 | 1            | 1            |
|                               | (2) 医行為に関係する法律                 | 0.5          | 0.5          |
|                               | (3) チーム医療と介護職との連携              | 0.5          | 0.5          |
| 3 安全な療養生活                     |                                | 4            | 4            |
|                               | (1) たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 2            | 2            |
|                               | (2) 救急蘇生法                      | 2            | 2            |
| 4 清潔保持と感染予防                   |                                | 2.5          | 2.5          |
|                               | (1) 感染予防                       | 0.5          | 0.5          |
|                               | (2) 職員の感染予防                    | 0.5          | 0.5          |
|                               | (3) 療養環境の清潔、消毒法                | 0.5          | 0.5          |
|                               | (4) 滅菌と消毒                      | 1            | 1            |
| 5 健康状態の把握                     |                                | 3            | 3            |
|                               | (1) 身体・精神の健康                   | 1            | 1            |
|                               | (2) 健康状態を知る項目（バイタルサインなど）       | 1.5          | 1.5          |
|                               | (3) 急変状態について                   | 0.5          | 0.5          |
| 6 高齢者及び障害児・者の<br>「喀痰吸引」概論     |                                | 11           | 11           |
|                               | (1) 呼吸のしくみとはたらき                | 1.5          | 1.5          |
|                               | (2) いつもと違う呼吸状態                 | 1            | 1            |
|                               | (3) たんの吸引とは                    | 1            | 1            |
|                               | (4) 人工呼吸器と吸引                   | 2            | 2            |
|                               | (5) 小児の吸引について                  | 1            | 1            |
|                               | (6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意  | 0.5          | 0.5          |
|                               | (7) 呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）        | 1            | 1            |
|                               | (8) たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 1            | 1            |
|                               | (9) 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 2            | 2            |
| 7 高齢者及び障害児・者の<br>「喀痰吸引」実施手順解説 |                                | 8            | 8            |
|                               | (1) たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 1            | 1            |



|   |                                 |      |      |
|---|---------------------------------|------|------|
|   | (2) 吸引の技術と留意点                   | 5    | 5    |
|   | (3) たんの吸引に伴うケア                  | 1    | 1    |
|   | (4) 報告及び記録                      | 1    | 1    |
| 8 | 高齢者及び障害児・者の<br>「経管栄養」概論         | 10   | 10   |
|   | (1) 消化器系のしくみとはたらき               | 1.5  | 1.5  |
|   | (2) 消化・吸収とよくある消化器の症状            | 1    | 1    |
|   | (3) 経管栄養法とは                     | 1    | 1    |
|   | (4) 注入する内容に関する知識                | 1    | 1    |
|   | (5) 経管栄養実施上の留意点                 | 1    | 1    |
|   | (6) 小児の経管栄養について                 | 1    | 1    |
|   | (7) 経管栄養に関係する感染と予防              | 1    | 1    |
|   | (8) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 | 0.5  | 0.5  |
|   | (9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認       | 1    | 1    |
|   | (10) 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 1    | 1    |
| 9 | 高齢者及び障害児・者の<br>「経管栄養」実施手順解説     | 8    | 8    |
|   | (1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持   | 1    | 1    |
|   | (2) 経管栄養の技術と留意点                 | 5    | 5    |
|   | (3) 経管栄養に必要なケア                  | 1    | 1    |
|   | (4) 報告及び記録                      | 1    | 1    |
|   | 合計時間                            | 50.0 | 50.0 |

(注1) 中項目の時間配分は参考例 (注2) 大項目の必要時間数を確保すること。

## カリキュラム（第一号研修・第二号研修）

### 2 基本研修（演習）

| 行 為   |                      | 必要回数  | 実施回数  |
|-------|----------------------|-------|-------|
| 喀痰吸引  | 口腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 5 回以上 | 5 回以上 |
|       | 鼻腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 5 回以上 | 5 回以上 |
|       | 気管カニューレ内部の喀痰吸引（通常手順） | 5 回以上 | 5 回以上 |
| 経管栄養  | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養      | 5 回以上 | 5 回以上 |
|       | 経鼻経管栄養               | 5 回以上 | 5 回以上 |
| 救急蘇生法 |                      | 1 回以上 | 1 回以上 |

### 3 実地研修

(1) 第一号研修 下記の行為すべてについて実地研修を修了すること。

| 行 為  |                      | 必要回数   | 実施回数   |
|------|----------------------|--------|--------|
| 喀痰吸引 | 口腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 10 回以上 | 10 回以上 |
|      | 鼻腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 20 回以上 | 20 回以上 |
|      | 気管カニューレ内部の喀痰吸引（通常手順） | 20 回以上 | 20 回以上 |
| 経管栄養 | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養      | 20 回以上 | 20 回以上 |
|      | 経鼻経管栄養               | 20 回以上 | 20 回以上 |

(2) 第二号研修 下記の行為いずれかについて実地研修を修了すること。

| 行 為  |                      | 必要回数   | 実施回数   |
|------|----------------------|--------|--------|
| 喀痰吸引 | 口腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 10 回以上 | 10 回以上 |
|      | 鼻腔内の喀痰吸引（通常手順）       | 20 回以上 | 20 回以上 |
|      | 気管カニューレ内部の喀痰吸引（通常手順） | 20 回以上 | 20 回以上 |
| 経管栄養 | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養      | 20 回以上 | 20 回以上 |
|      | 経鼻経管栄養               | 20 回以上 | 20 回以上 |